

大切なお知らせ



南阿蘇村立保育所のあり方検討委員会より 答申書が提出されました

～子どもたちの未来にとって最善の保育環境を目指して～

〈問い合わせ〉こども未来課 子育て支援係 ☎0967(67)2715



お知らせ



答申書を手にする太田村長(写真中央)と
有識者の今吉委員(左)、園田副村長(右)

少子化の進行や施設の老朽化、現場の負担軽減といった課題に対応し、将来にわたり最善の保育環境を整えるため、検討を重ねてきた「南阿蘇村立保育所のあり方検討委員会」から、太田村長へ答申書が提出されました。

本答申は、単なるコスト削減ではなく、段階的な再編や民営化によって生まれる財源・資源を、保育の質の向上や保護者支援に戦略的に還元していくことを目指しています。

なお、委員会で議論された民営化について、保育料は公営と原則変わらないことや、社会福祉法人による質の高い運営により公営・民営の相乗効果が期待できることなどが確認されています。

答申書の詳細やこれまでの審議概要は、村公式ホームページにてご覧いただけます。

答申の主なポイント

●二段階での再編プロセス

第1段階(当面1～2年)

3園体制を維持したまま、2園(はくすい・くぎの)を先行して民間委託へ移行。

第2段階(将来3～5年)

将来の園児数推計に合わせ、中長期的に「2園体制(公営1・民営1)へ集約し新園を整備。

●創出財源の子育て・保育への還元

完全給食の導入と無償化(主食の持参不要)おむつ無償利用(サブスクリプション)の導入
体操・運動プログラムなどの専門教育の充実
フリー保育士の配置による現場改善

●安全で利便性の高い園舎適地の選定

災害リスクの完全回避
送迎利便性を重視した用地選定

●今後の進め方について

村では答申を受け、実現可能性を検証するためのサウンディング型市場調査などを実施します。具体的な方向性の見通しが立った段階で、改めて保護者の皆さんへお伝えし、説明会を開催する予定です。



村HP



元気にすくすく育つ子どもたち(ちょうよう保育園)